



平成29年3月期

ソフト99コーポレーション

第2四半期決算説明会

平成28年12月5日

- 本プレゼンテーション、および引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれております。
- この将来予測に基づく記載や発言は、製品の需要変動、景気動向、天候およびその他のリスクや不確定要素を含みます。
- 本プレゼンテーションおよび、引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私たちは、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。
- またこの記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が私たちの現在の期待とは実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となりえます。

I : 企業グループの概要

会社概要



株式会社 ソフト99コーポレーション

創 立	昭和29年(1954年)10月28日
資 本 金	2,310,056,000円
代 表 者	代表取締役社長 田中 秀明
従業員数	200名 (平成28年 9月30日現在)
事業内容	自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売

当社主要製品の歴史

1969年
「ハンネリ」



1978年
「ボデーペン」



1987年
「タイネット」



1993年
「めりめりガラコ」



1995年
「99工房シリーズ」



1999年
「フクピカwet」






2006年
「メガネのシャンプー」






関係会社一覧



社名	所在地	資本金 又は 出資金	議決権に対する 提出会社の 所有割合	関係内容
アイオン(株) 	大阪市中央区	482百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
アスモ(株) 	大阪市中央区	80百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
上海速特九九化工有限公司 	中華人民共和国 上海市	5,650 千米ドル	100.0%	役員の兼任
(株)ソフト99オートサービス 	大阪市中央区	50百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
(株)暮らし企画 	東京都江東区	50百万円	100.0%	役員の兼任・不動産の賃貸
アライズ(株) 	大阪市中央区	50百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
(株)オレンジ・ジャパン 	東京都江東区	30百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
(株)アンテリア 	大阪市中央区	10百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸

事業セグメントの概要



ファインケミカル	カー用品（一般用・業務用）	 (株) ソフト99コーポレーション
	家庭用品等製品	
	海外事業	 上海速特九九化工有限公司
	海外カー用品輸入・販売	 (株) アンテリア
	TPMS企画・開発・販売	 (株) オレンジ・ジャパン
ポーラスマテリアル	産業資材部門	 アイオン(株)
	生活資材部門	
サービス	オートサービス事業	 (株) ソフト99オートサービス
	教習事業	 アスモ(株)
	生活用品企画販売事業	 (株) 暮らし企画
不動産関連	不動産賃貸事業	 (株) ソフト99コーポレーション
	温浴事業	
	介護予防支援事業	 アライズ(株)

Ⅱ：連結業績の概要

連結業績（損益：対前年同期比較）

- ファインケミカル、ポラスマテリアルの好調で増収増益。
- 前期の投資有価証券売却益の影響がなくなったことや、厚生年金基金解散による特別損失の計上で最終利益は減益となる。

（単位：百万円）

	平成28年3月期 2Q累計	平成29年3月期 2Q累計	対前年比・増減額	対前年比・増減率
売上高	10,971	11,057	+86	+0.8%
売上総利益	3,955	4,068	+113	+2.9%
売上総利益率	(36.1%)	(36.8%)	(+0.7P)	-
販売費及び一般管理費	2,863	2,927	+64	+2.2%
営業利益	1,091	1,140	+49	+4.5%
営業利益率	(10.0%)	(10.3%)	(+0.3P)	-
経常利益	1,200	1,231	+31	+2.6%
税金等調整前当期純利益	1,453	1,115	△338	△23.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	954	824	△130	△13.6%

要約連結キャッシュフロー（対前年同期比較）

（単位：百万円）

	平成28年3月期 2Q累計	平成29年3月期 2Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,038	407
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7	△425
財務活動によるキャッシュ・フロー	20	△257
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△4
現金及び現金同等物の増加額（△減少額）	1,052	△279
現金及び現金同等物の期首残高	12,063	14,049
現金及び現金同等物の期末残高	13,115	13,769
減価償却費	331	332
設備投資額（※）	164	457

（※）有形固定資産の取得による支出

要約連結貸借対照表 (対前期末比較)



(単位：百万円)

	平成28年 3月末	平成28年 9月末	増減額		平成28年 3月末	平成29年 9月末	増減額
流動資産	20,909	21,027	+118	流動負債	3,209	2,686	▲523
現金及び預金	14,493	14,206	▲287	買入債務	1,002	978	▲2
売上債権	3,452	3,526	+74	未払法人税等	628	296	▲332
有価証券	200	502	+376	未払金・未払費用	1,083	1,003	▲80
棚卸資産	2,248	2,375	+127	その他	495	408	▲87
その他	514	416	▲98	固定負債	3,642	3,489	▲153
固定資産	28,507	28,279	▲228	負債合計	6,851	6,175	▲676
有形固定資産	21,723	21,751	+28	純資産	42,565	43,131	+566
無形固定資産	154	137	▲17	株主資本	42,358	42,968	+610
投資その他の資産	6,628	6,390	▲238	その他包括利益累計額	206	162	▲44
資産	49,417	49,307	▲110	負債及び純資産	49,417	49,307	▲110

連結ハイライト指標 (対前年同期比較)



(単位：百万円)

	平成28年3月期 2Q	平成29年3月期 2Q	増減
総資産	48,777	49,307	+ 530
純資産	42,163	43,131	+ 968
自己資本比率 (%)	86.4%	87.5%	+ 1.1P
ROA (経常利益/総資産)	2.4%	2.5%	+ 0.1P
ROE (純利益/純資産)	2.2%	1.9%	△ 0.3P
1株当たり純利益 (円)	43.83	38.02	△ 5.81
1株当たり配当 (円)	8.50	10.00	+ 1.5
配当性向	19.4%	26.3%	+ 6.9P

Ⅲ：セグメント業績の概要

ファインケミカル（損益：対前年同期比較）



- 業務用製品販売および海外販売が好調で16百万円の増収。
- 売上総利益は、利益率の高い業務用販売の伸長や海外事業の粗利改善により37百万円の増益。

(単位：百万円)	平成28年3月期 2Q累計	平成29年3月期 2Q累計	対前年比・増減額	対前年比・増減率
売上高	5,365	5,381	+16	+0.3%
（一般用：ボディケア）	(1,022)	(1,017)	(▲5)	(▲0.6%)
（一般用：ガラスケア）	(1,727)	(1,679)	(▲47)	(▲2.8%)
（一般用：リペアグッズ）	(1,157)	(1,163)	(+6)	(+0.6%)
（業務用）	(647)	(686)	(+39)	(+6.1%)
（家庭用品等）	(230)	(233)	(+2)	(+1.3%)
（海外事業）	(532)	(580)	(+47)	(+8.9%)
（TPMS）	(52)	(49)	(▲2)	(▲5.6%)
（その他）※樹脂容器販売を含む	(△5)	(△29)	(▲23)	(▲417.5%)
売上総利益	2,533	2,570	+37	+1.5%
粗利益率（%）	47.2%	47.8%	+0.6P	-
営業利益	601	611	+10	+1.8%
営業利益率（%）	11.2%	11.4%	+0.2P	-

ポーラスマテリアル (損益：対前年同期比較)



- 産業資材・生活資材ともに国内向け販売が伸長し148百万円の増収。
- 売上総利益は、工場の稼働向上で原価を圧縮し89百万円の増益。

(単位：百万円)	平成28年3月期 2Q累計	平成29年3月期 2Q累計	対前年比・増減額	対前年比・増減率
売上高	2,380	2,529	+148	+6.3%
(産業資材)	(1,742)	(1,800)	(+58)	(+3.3%)
(国内)	(857)	(932)	(+75)	(+8.8%)
(海外)	(885)	(867)	(▲18)	(▲2.0%)
(生活資材)	(637)	(730)	(+93)	(+14.6%)
(国内)	(300)	(367)	(+67)	(+22.2%)
(海外)	(337)	(364)	(+27)	(+7.9%)
売上総利益	741	830	+89	+12.1%
粗利益率 (%)	31.1%	32.8%	+1.7P	—
営業利益	303	357	+53	+17.6%
営業利益率 (%)	12.8%	14.1%	+1.4P	—

サービス (損益：対前年同期比較)

- 自動車整備・钣金事業は保険代理店からの在庫減少を新規事業でカバーし前年並みとなるも、生活用品企画販売事業はヒット商品の創出に苦戦し、全体は62百万円の減収。
- 売上総利益は13百万円の減益。自動車整備・钣金事業の原価圧縮で粗利益率は前年並み。

(単位：百万円)	平成28年3月期 2Q累計	平成29年3月期 2Q累計	対前年比・増減額	対前年比・増減率
売上高	2,494	2,432	▲62	▲2.5%
(自動車整備・钣金事業)	(1,189)	(1,188)	(▲1)	(▲0.1%)
(自動車教習所)	(417)	(415)	(▲2)	(▲0.4%)
(生活用品企画販売)	(888)	(828)	(▲60)	(▲6.7%)
売上総利益	535	522	▲13	▲2.4%
粗利益率 (%)	21.5%	21.5%	+0.0P	-
営業利益	58	42	▲16	▲28.2%
営業利益率 (%)	2.4%	1.7%	▲0.6P	-

不動産関連（損益：対前年同期比較）

- 不動産賃貸事業は、物流倉庫建替えにともなうテナント賃料収入の減少で前年を下回る。温浴事業は一部店舗での設備故障で来店客数減少。全体では17百万円の減収となる。

(単位：百万円)	平成28年3月期 2Q累計	平成29年3月期 2Q累計	対前年比・増減額	対前年比・増減率
売上高	730	713	▲17	▲2.3%
(不動産賃貸)	(185)	(180)	(▲5)	(▲2.7%)
(温浴事業)	(536)	(511)	(▲25)	(▲4.7%)
(介護予防支援事業)	(8)	(21)	(+13)	(+162.5%)
売上総利益	145	144	▲1	▲1.0%
粗利益率(%)	19.9%	20.2%	+0.3P	—
営業利益	127	124	▲3	▲3.0%
営業利益率(%)	17.5%	17.4%	▲0.1P	—

セグメント情報 (セグメント別売上高・営業利益比較)



(単位：百万円)

売上高	平成28年3月期 2Q累計 (全体構成比率)	平成29年3月期 2Q累計 (全体構成比率)	対前年構成比率 増減
ファインケミカル	5,365 (48.9%)	5,381 (48.7%)	△0.2P
ポーラスマテリアル	2,380 (21.7%)	2,529 (22.9%)	+1.2P
サービス・不動産関連	3,225 (29.4%)	3,146 (28.4%)	△1.0P
合計	10,971 (100.0%)	11,057 (100.0%)	—

営業利益	平成28年3月期 2Q累計 (全体構成比率)	平成29年3月期 2Q累計 (全体構成比率)	対前年構成比率 増減
ファインケミカル	601 (55.1%)	611 (53.9%)	△1.2P
ポーラスマテリアル	303 (27.8%)	357 (31.5%)	+3.7P
サービス・不動産関連	186 (17.1%)	166 (14.6%)	△2.5P
(※) 合計	1,091 (100.0%)	1,140 (100.0%)	—

(※) 合計には調整額を含んでおります。

株主還元の方針

- 安定的な配当の継続を基本方針とし、配当性向については連結当期純利益の25%、また、自己株式買付を含めた総還元性向は30%を目指す。

✓平成28年4月1日～平成28年9月1日に、買付株式数57,600株・買付総額41,312,200円の自己株取得を実施。

✓中間期の1株あたり配当金は期首予想から0.50円増額の10.00円、期末配当予想についても0.50円増額の10.00円に修正。

- 内部留保は、将来の事業拡大と経営体質強化に向けた投資への活用を想定する。

	平成29年3月期2Q (実績)	平成29年3月期 (予想)	進捗
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	824	1,580	52.15%
1株あたり当期純利益 (円)	38.02	72.88	52.17%
1株あたり配当金 (円)	(中間配当額) 10.00	20.00	50.00%
年間配当額 (百万円) ※平成28年9月末の株主名簿を基礎として算出。	207	414	—
配当性向 (%) 連結ベース、年間配当額÷当期純利益	26.3	26.2	—
純資産配当率 (%)	0.5	1.0	—

IV：中期経営計画最終年度進捗状況

中期経営計画の概要



■中期経営計画「SOFT99 Drive」(平成26年4月1日～平成29年3月31日)

経営理念 : 生活文化創造企業

経営ビジョン : 未来の『あたりまえ』を発見する

『あたりまえ』とは…一過性のブームで終わらない、お客さまに長く愛される、いつもお客様のそばにある製品やサービス
『発見』とは…ハイテク製品ではなく、日常生活からお客さまに支持されるような製品やサービス

経営基本方針

1

成熟市場に向けた、新しい高付加価値製品・サービスを提供

2

成長市場に積極的に参入し、事業の拡大をはかる

3

未来の『あたりまえ』を発見するため、
新技術・サービスノウハウの蓄積と新用途開発の推進

4

社会の要請に応え、正当な評価を受ける企業集団を目指す

最終年度 市場概況



ファインケミカル

ポーラスマテリアル

国内

一般消費

消費はモノからコト（サービス・体験）へ需要が移り変わり、小売店の来店客数は減少傾向。

自動車販売

新車販売は軽自動車を除き増加。中古車販売も前年比増加。

ハイテク

半導体市場は復調傾向。

海外

自動車販売

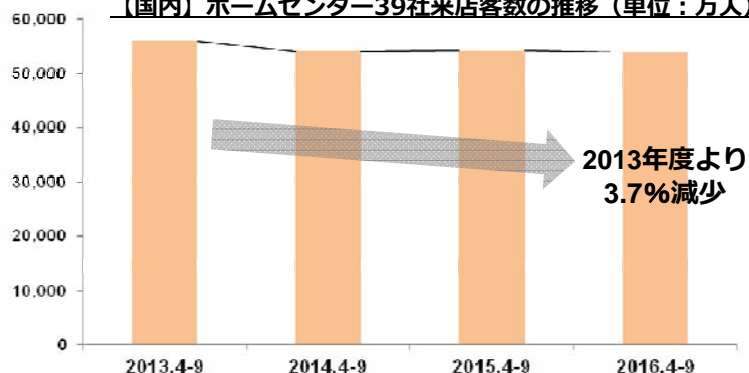
※出典：https://www.marklines.com/ja/vehicle_sales/

- ✓中国：前年同期を上回り好調。
- ✓ロシア：前年同期を下回る。
- ✓韓国：前年同期を下回る。
- ✓東南アジア：タイ・インドネシア・シンガポールは前年同期比増加。マレーシアは減少。

ハイテク

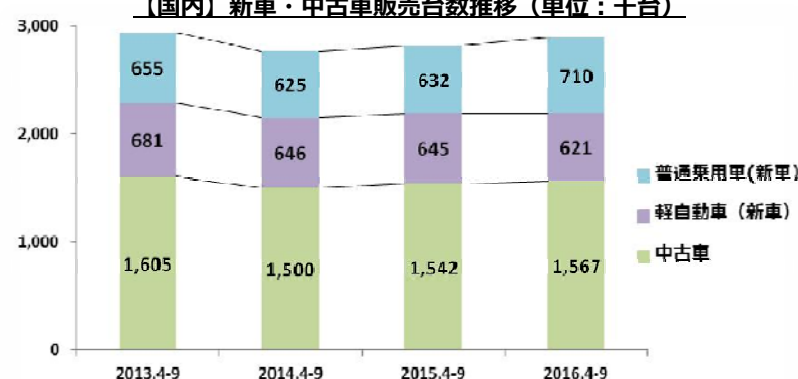
- ✓半導体は米国メーカーを中心に好調。
- ✓HDDはSSDへ置き替りが進み、低調に推移。

【国内】ホームセンター39社来店客数の推移（単位：万人）



※出典：一般社団法人 日本DIY協会ホームページ

【国内】新車・中古車販売台数推移（単位：千台）



※出典：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会ホームページ

最終年度の取り組み 成熟市場(1)

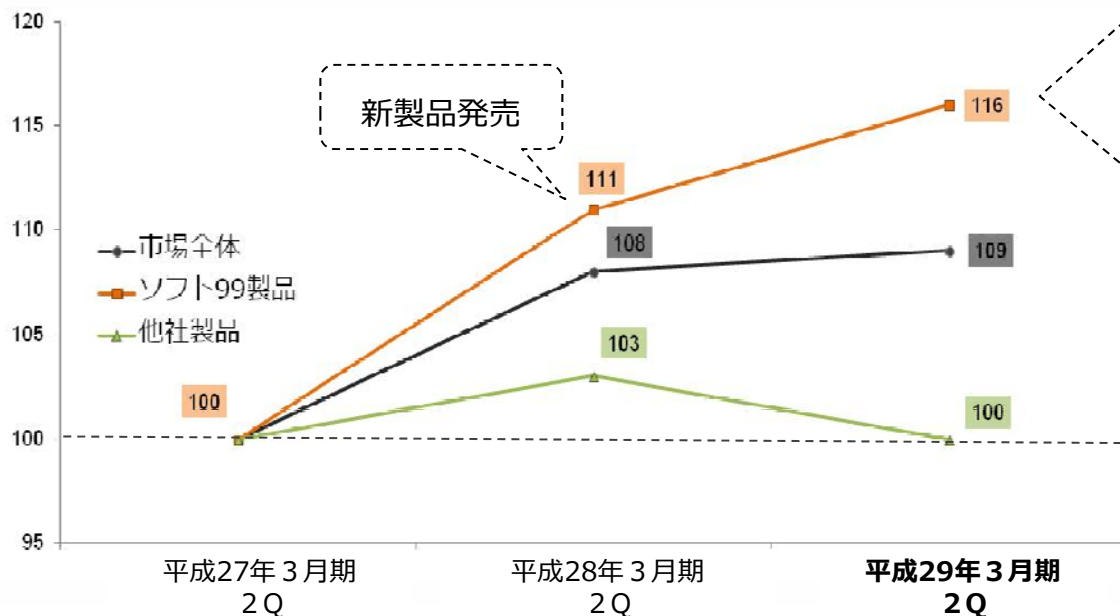


■ファインケミカル 一般消費者向け販売

ガラス撥水剤「ガラコ」発売25周年にあたり、販売を一層強化するとともに認知度向上のための広告宣伝・販売促進活動に努めた。

撥水剤・ウィンドウウォッシャー液売上の推移

(平成27年3年期2Q実績を100とした指数)



新製品発売

ガラコワゴン巡回キャンペーン

全国のサービスエリアを巡回することで撥水剤に馴染みのない消費者へ認知向上をはかりました。



ラジオCM

地方の方言をもじったラジオCMを全国のFM局で放送。ドライブ中の消費者に向け、ガラス撥水剤の需要掘り起こしをはかりました。

ラジオCM放送地域 (全10局) ▶



※出典：インテージ SRI ガラスケア市場（ガラス撥水剤、ウィンドウウォッシャー液）2014年4月～2016年9月 販売金額・金額シェア

最終年度の取り組み 成熟市場(2)

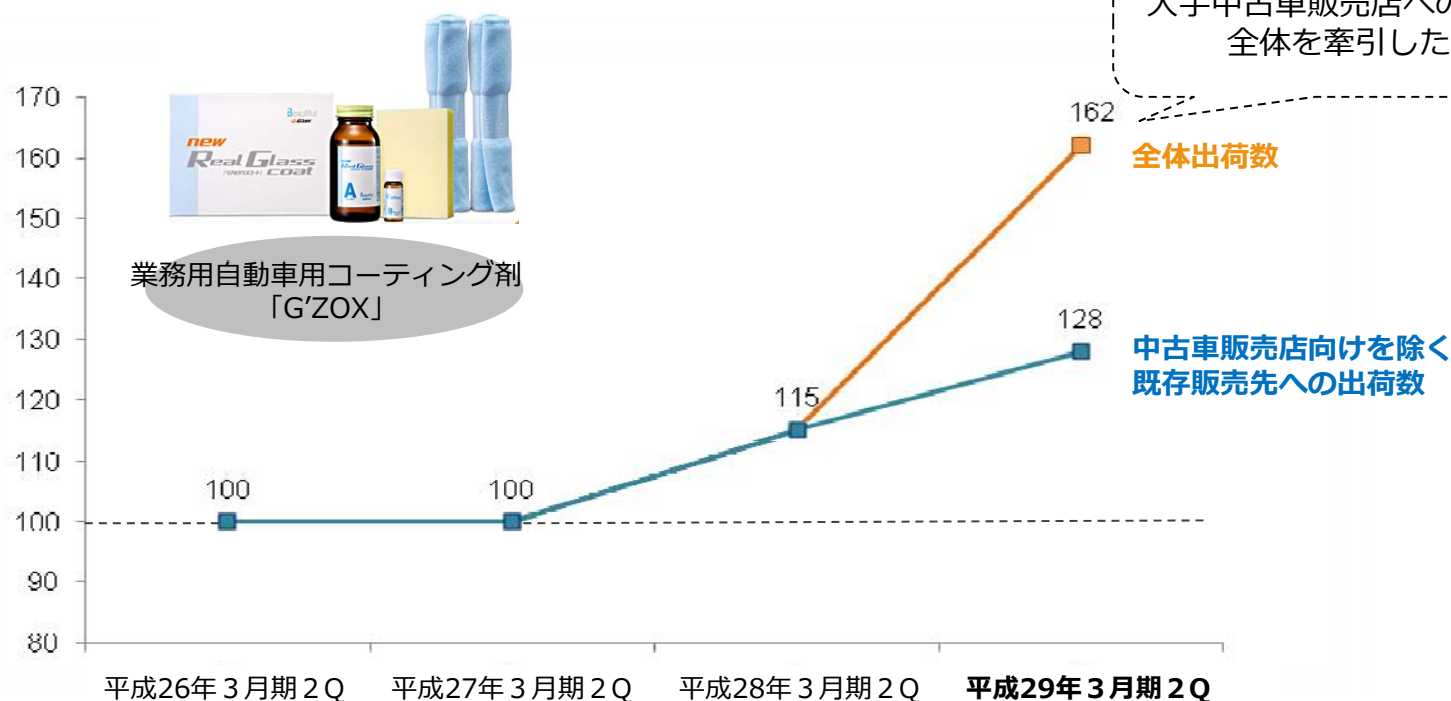


■ファインケミカル 業務用販売

自社ブランドコーティング剤「G'ZOX」が大手中古車販売店への導入開始により伸長。

自社ブランドコーティング製品出荷数の推移

(平成26年3年期2Q実績を100とした指数)



最終年度の取り組み 成熟市場(3)

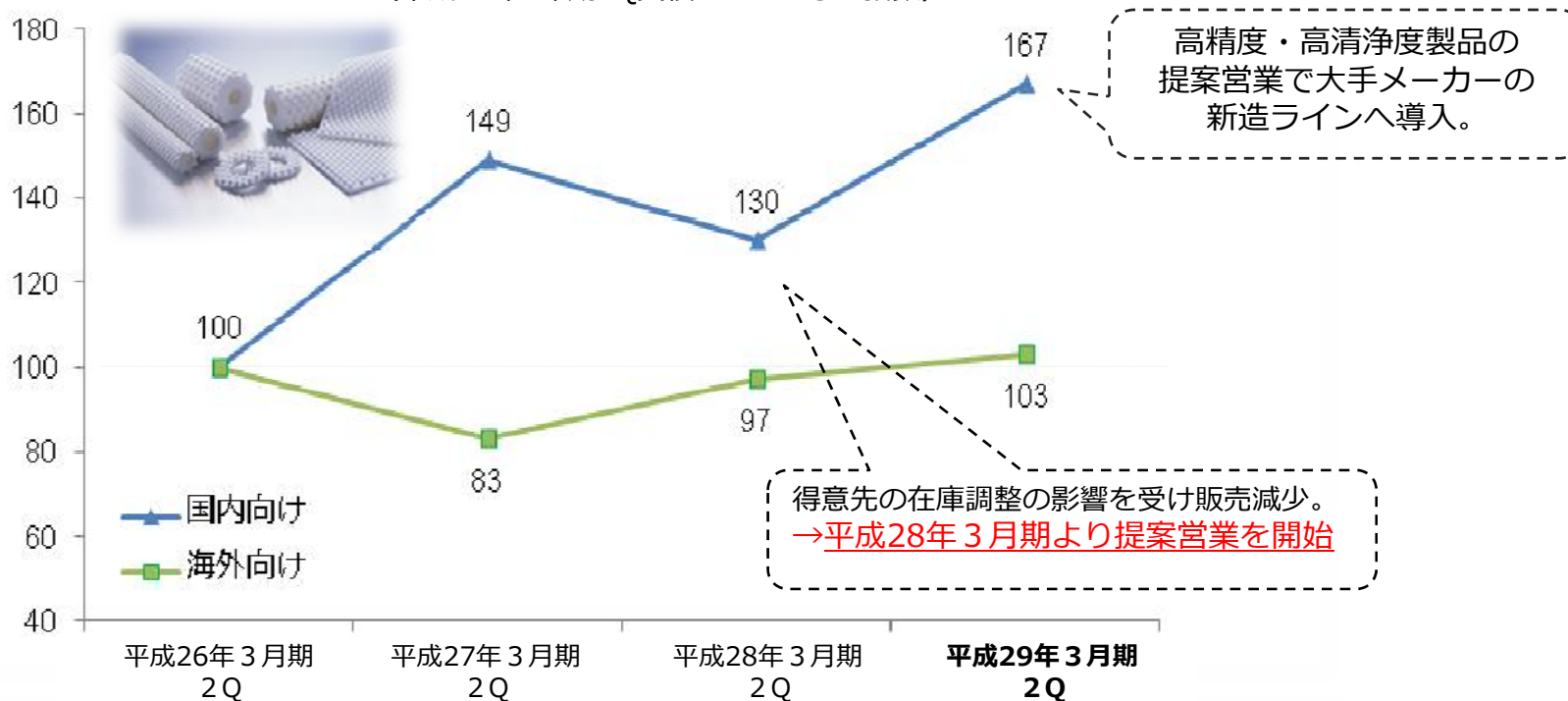


■ポーラスマテリアル 産業資材分野

国内販売において、半導体用途製品の出荷増加により増収。

半導体洗浄用途製品 売上高の推移

(平成26年3月期2Q実績を100とした指数)

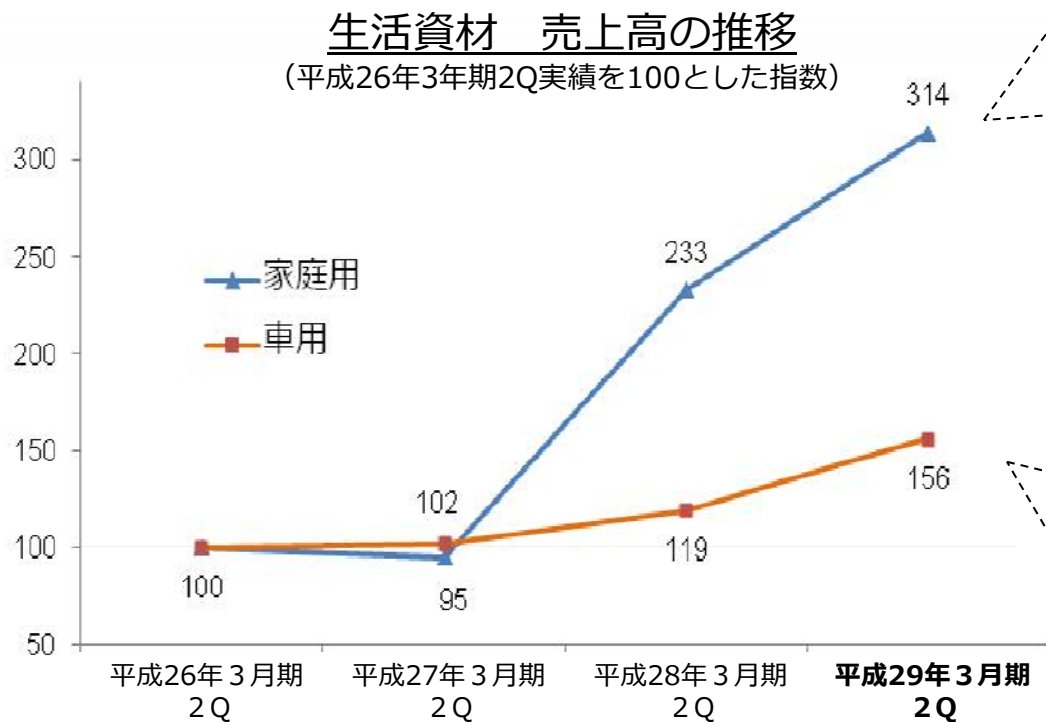


最終年度の取り組み 成熟市場(4)



■ポーラスマテリアル 生活資材分野

国内販売において、車用・家庭用吸水グッズの販売が増加。



家庭用製品

▶前年8～9月よりTV番組の採用をきっかけに認知度が向上。小売店の導入店舗が拡大。

スポンジの吸水力を利用した清掃・シミ抜きなどの需要掘り起こしに成功。



車用製品

▶ファインケミカルとの協働で売り場を拡大し販売が増加。



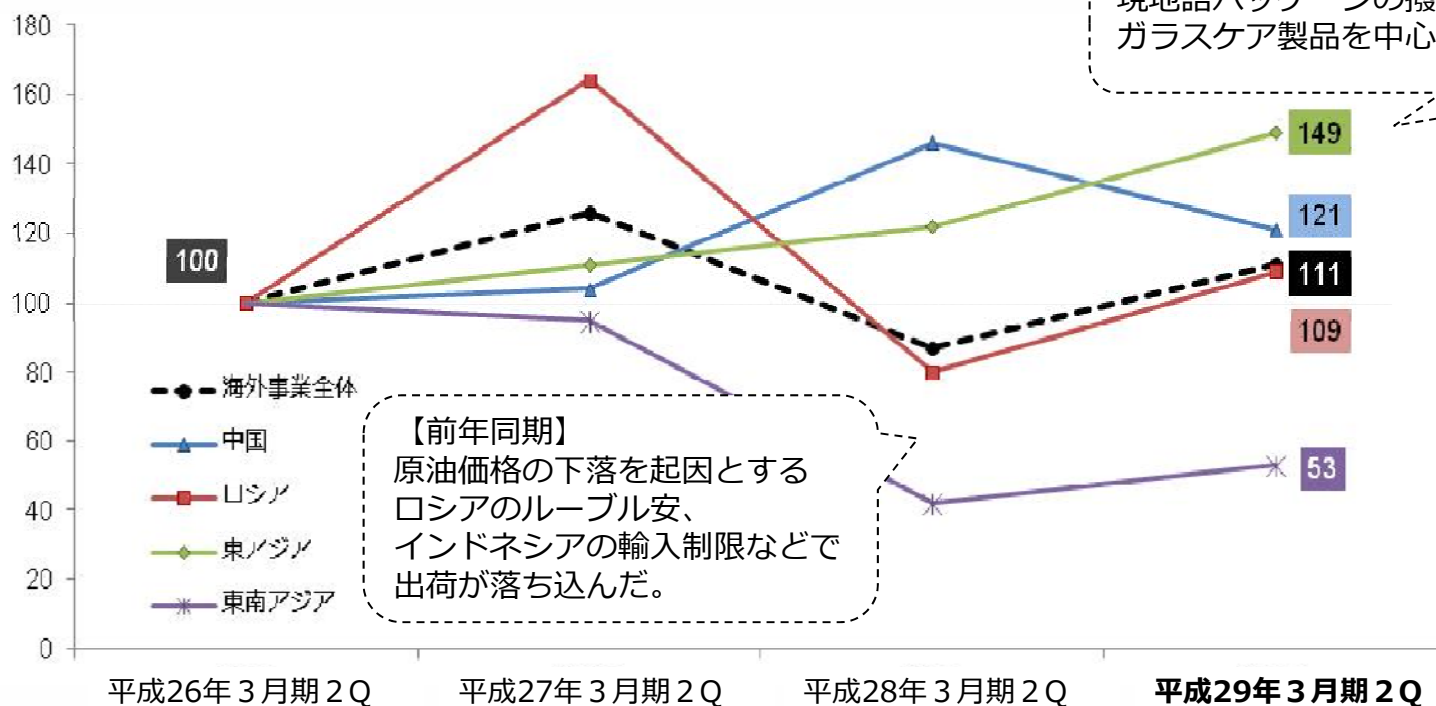
最終年度の取り組み 成長市場(1)-①



■ファインケミカル 海外事業

ロシアへの出荷が回復。東アジア向けは順調に出荷を伸ばす。

海外地域別売上高の推移
(平成26年3年期2Q実績を100とした指数)



東アジア（韓国・台湾）は
現地語パッケージの撥水剤など
ガラスケア製品を中心に出荷が増加。



【前年同期】
原油価格の下落を起因とする
ロシアのルーブル安、
インドネシアの輸入制限などで
出荷が落ち込んだ。

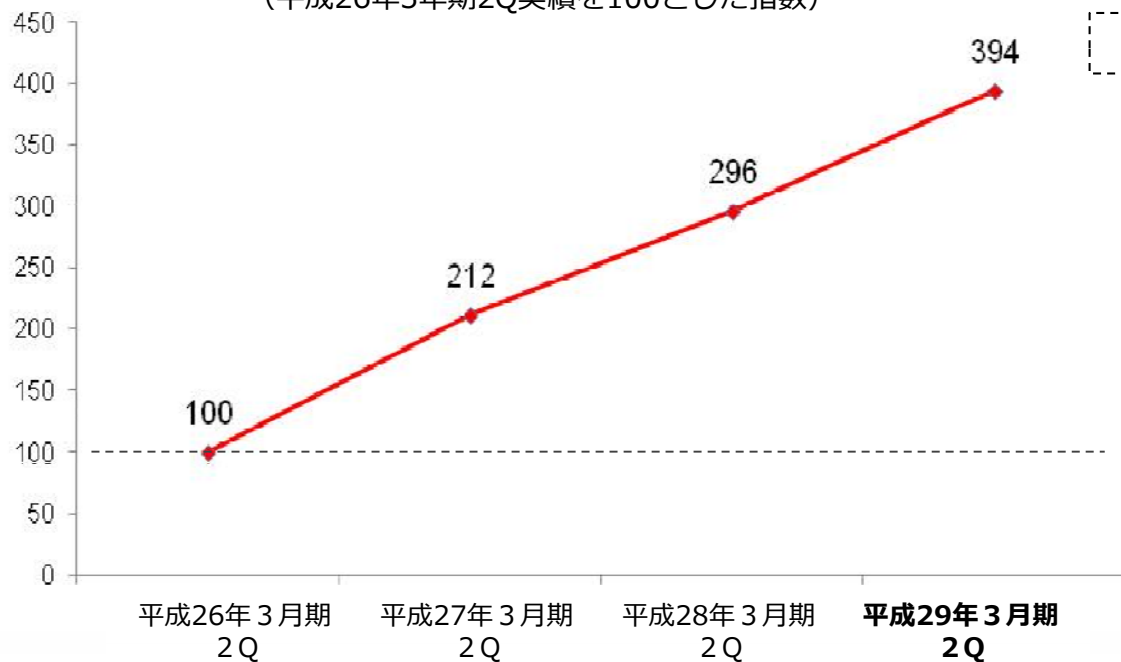
最終年度の取り組み 成長市場(1)-②



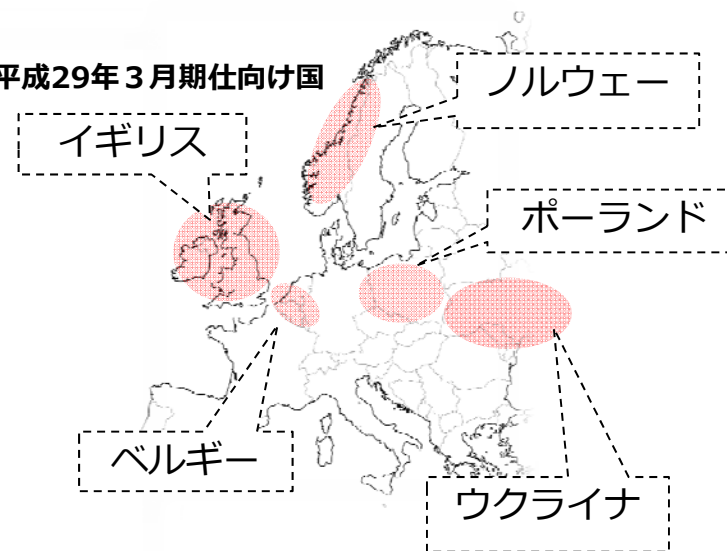
■ファインケミカル 海外事業

主要仕向け先への出荷増加に加え、ヨーロッパ向け出荷も好調に推移。

ヨーロッパ向け売上高の推移
(平成26年3年期2Q実績を100とした指数)



平成29年3月期仕向け国



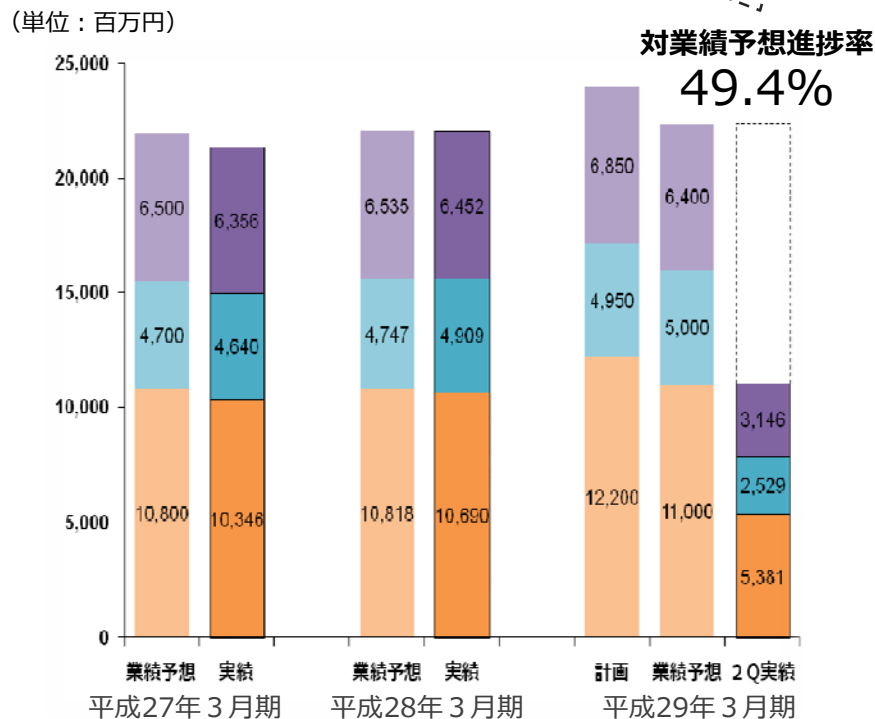
固形ワックス「年間防水」などの一般消費者向け自動車ボディお手入れ製品が主な出荷製品。

最終年度進捗状況 ①損益

■ 通期業績予想に対し、第2四半期の売上高は49.4% 営業利益は51.5%で進捗。

売上高

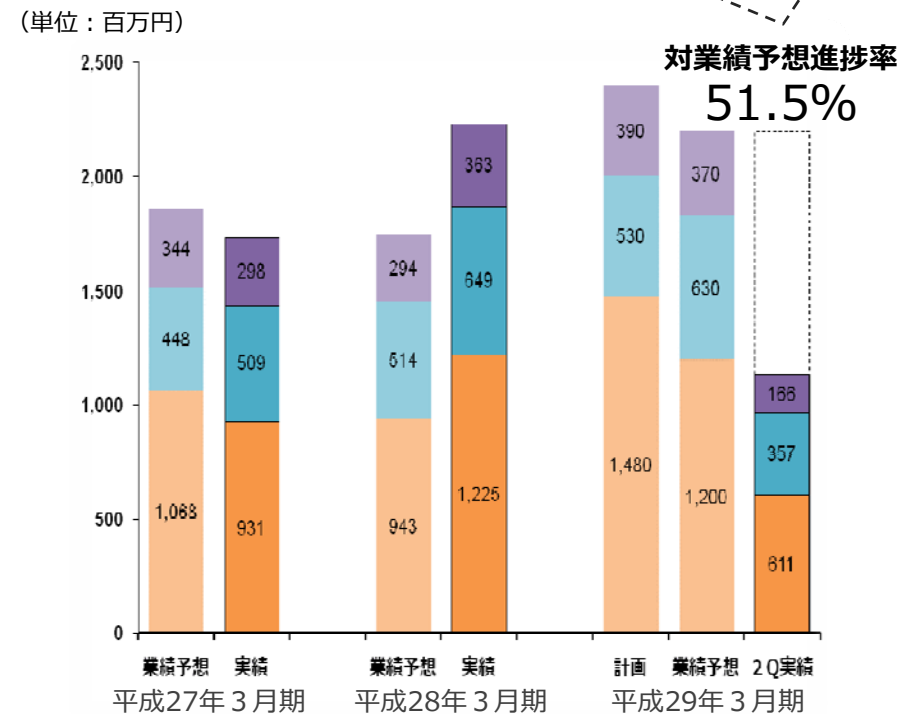
ファインケミカル 48.9%
 ポーラスマテリアル 50.6%
 サービス・不動産 49.2%



営業利益

ファインケミカル
 ポーラスマテリアル
 サービス・不動産

ファインケミカル 50.1%
 ポーラスマテリアル 56.7%
 サービス・不動産 44.9%

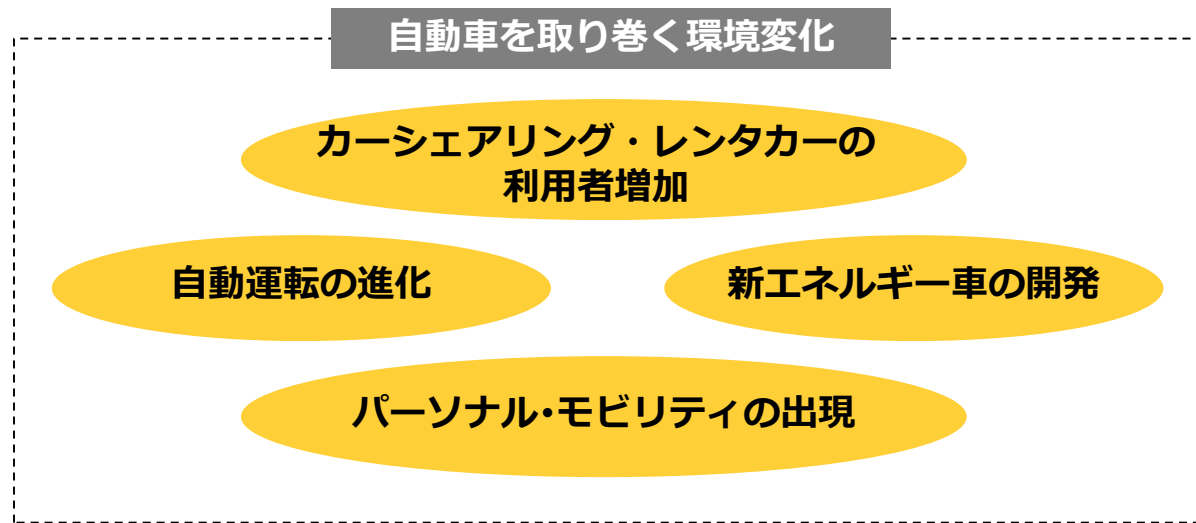


最終年度進捗状況 ②市場別



成熟市場		最終年度上半期までの状況	
ファインケミカル 国内市場	1年目	<ul style="list-style-type: none"> ▶一般消費者向け製品販売 市場に対し消費者のニーズを捉えた製品の投入ができず苦戦した。 ▶TPMS事業を平成27年1月より開始。 	
	2年目	<ul style="list-style-type: none"> ▶一般消費者向け販売は、ガラスケア製品の販売に注力し、新製品を投入したことで販売増加。 ▶業務用製品販売・家庭用販売は、新規販売先の開拓活動が実を結び、販売増加。 	
	3年目	<ul style="list-style-type: none"> ▶業務用製品販売・家庭用製品販売は、ともに大手販売店への導入がすすみ、好調を継続。 	
ポーラスマテリアル 既存分野 (国内・海外)	1年目	<ul style="list-style-type: none"> ▶産業資材 半導体用途において、メーカー間の競争激化で在庫調整の影響を受け発注量が減少。 	
	2年目	<ul style="list-style-type: none"> ▶産業資材 半導体用途において、高品質・高清浄度製品の提案営業を開始。 ▶生活資材 家庭用吸水グッズの認知度向上・需要掘り起こしにより、販売小売店が拡大。 	
	3年目	<ul style="list-style-type: none"> ▶産業資材 前期よりスタートした提案営業により販売増加。 	
成長市場		最終年度上半期までの状況	
ファインケミカル 海外市場	1年目	<ul style="list-style-type: none"> ▶現地語パッケージ製品を投入し、ロシア・アジア圏を中心に販売拡大。 	
	2年目	<ul style="list-style-type: none"> ▶主要仕向け地のロシア・東南アジアにおいて、経済環境悪化の影響を受け出荷が減少。 	
	3年目	<ul style="list-style-type: none"> ▶ロシア・東南アジアの経済環境の回復に加え、東アジア向けローカライズ製品の販売が拡大。 	
ポーラスマテリアル 新規分野 (国内・海外)	2年目	<ul style="list-style-type: none"> ▶NDC (New Demand Creation) 活動開始。 ▶新たに医療分野への取り組みを開始。インフルエンザ検査キットの部材に採用となる。 	
	3年目	<ul style="list-style-type: none"> ▶医療分野において、横展開により使用用途が拡大。 	

将来に向けた課題



車は「所有」から「使用」する時代へと移行し、従来の“ドライバーが車をキレイにする”という関係に変化が起こる可能性

当社グループの課題

自動車美装習慣の変化を見据えた、新たな製品・サービスの開発

長時間に亘り、
ご清聴ありがとうございました